

# ARTS for HOPE 活動報告書

2014年11月11日～14日



## ①11月11日／岩手県大船渡市 宮田応急仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

これまでに何度かプログラムをお届けし、今では大船渡で一番深い関わりとなった宮田仮設住宅。壁にはこれまでの記念写真を大切に飾り、我々の到着を待っていてくれました。仮設住宅を出た後は居住区がバラバラになってしまう住民の皆さん。この日もすでに仮設住宅から退出した住民の方が、つながりを求めて参加してくれました。「災害復興住宅での新たなコミュニティづくりにも力を貸してほしい」自治会長さんから嬉しい言葉をいただきました。



## ②11月12日／岩手県陸前高田市 長砂応急仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

昨年6月に訪れてから久しぶりの再訪となった仮設住宅。ここでもまた、仮設住宅から退出した住民の方の参加があり「家族を亡くし、ひとりの時間をどう過ごして良いのかわからない。こういう時間ありがたい」と仰られていました。

先日嫁いで行った娘への思いで作られたドレスの人形、クリスマスを迎えるためのツリーやオーナメント…。お母さんたちがつくるHappy Dollはとっても温かでした。



### ③11月14日／宮城県女川町 旧子育て支援センター「Happy Doll Project」の実施

サノフィ株式会社との協働プログラムとして、旧子育て支援センターで2回目となるプログラムを開催しました。今回のHappy Dollには、なんと熊手が登場！運を掻き込む縁起物であり、11月の風物詩。これまでに見たことのない縁起熊手が完成しました。地域を超えて集まってくれた住民の皆さん。完成作品のお披露目に恥ずかしそうに、でもすごく嬉しそうにされていたおばあちゃんは「今日は全部忘れて楽しかった。また会える日を楽しみに元気に生きたい」とコメントを寄せてくれました。



#### ④11月14日／宮城県石巻市 石巻バイパス応急仮設住宅「Happy Doll Project」の実施

サノフィ株式会社との協働プログラムとして、石巻バイパス応急仮設住宅（西集会所）で2回目となるプログラムを開催しました。女川町からの避難者の方が暮らす仮設住宅。ともに困難を乗り越え、強い絆で結ばれた住民の皆さん。途切れることのない会話。数分置きにわき起こる爆笑の渦…。でも「語り部を頼まれたけど、一言三言で涙が出てきてしゃべれない」「願いごとなんてもうなにもない」と、所々に聞こえてくる言葉に震災から4年目の重みを感じたプログラムとなりました。

